



## わんぱく学級活動記録



### 第47期わんぱく学級生



3月22日、わんぱく学級にて「閉講式」を行いました。

第47期わんぱく学級生の活動も、今回で最後。1年間の思い出を発表したり、アルバムを作成しました。アルバムにイラストを描いたり、マスキングテープやシールで可愛くデコレーションしました♪各々工夫をこらしたアルバムは宝物となったことでしょう。友達やお世話になった方々のこと、忘れないでね♪



何をしたか思い出してね



発表



かわいいデコレーションあるかな



かわいくデコレーションしてね



ポンポンでコースター作り



上手にくっつくかな



### 主事からひとこと



1年間、わんぱく学級で一緒に過ごした学級生。初体験のギネス挑戦やキャンプ、等妙寺探検、モルック。毎年恒例のクリスマス会やもちつきなど、1年を通してみんなでお楽しみました。4月からは中学生。友達や家族を大切に、楽しい中学生を送ってください。



公民館主事 伊藤

# 令和7年度新体制スタート!

今年度の役員が決定いたしました。区長会長に浦田賢三さん（旭町）、副会長に山本悟さん（水分）が選任されました。また、体育委員長に上甲順也さん（鬼北の里）、副委員長に野中宏史さん（旭町）が選任されました。1年間よろしくお願い致します。



地区名	氏名	地区名	氏名	地区名	氏名	地区名	氏名
旭町	浦田賢三（会長）	芝	中村 龍二	鬼北の里	上甲順也（委員長）	中野川	松浦 功
水分	山本悟（副会長）	永野市	田中 達生	旭町	野中宏史（副委員長）	芝	金谷 英樹
成川	武田一成（監事）	新町	松浦 茂	牛野川・水分	家高 勉	永野市	北村 伸次
奈良下	芝 達雄（監事）	本町	岡本 國和	北川	高田 隆弘	新町	松本 恵一
牛野川	家高 伸児	南町	酒井 尚吾	成川	桐島日出夫	本町	赤松 拓也
北川	宇都宮 誠	栄町	二宮 崇	今在家	青芝 一志	南町	二宮 純
今在家	渡辺 正弘	鬼北の里	芝 秀和	奈良中	都 靖	栄町	水野 正人
奈良中	山下 健一	年則	金谷 喜彦	奈良下	佐竹 勇樹	年則	岡本 謙二
中野川	上甲 民治						

## 令和7年度コミュニティ行事予定について

6月22日(日)

スポーツ大会(ちかスポ2025)  
～男女混合レクバレー～

8月15日(金)

納涼大会

10月19日(日)

運動会

11月中旬

敬老行事



皆様のご協力・ご参加よろしくお願い致します!!



## 近永地区スポーツ少年団卒入団式



3月18日、近永スポーツ少年団の卒入団式を行いました。サッカー部3名、ソフト部5名、ミニバス5名が卒団しました。長い間お疲れさまでした。これからもスポーツに励んでください。



あいさつ・祝辞



記念品贈呈



送ることば



別れのことば



入団誓いのことば



これからもスポーツ頑張ります！



## ひな祭り レディースカルチャースクール～文化探訪～



3月12日、レディースカルチャースクールにおいて、文化探訪を開催し、久万高原町のくままちひなまつりを散策しました。商店街にたくさんのお雛様などが飾られて華やかで、見ていて楽しいものでした。道の駅でのお昼もおいしくいただきました。

令和6年度のレディースカルチャースクールは終了しました。また令和7年度も募集しますので、是非ご参加ください。



# 図書新刊

## 入りました♪



近永公民館貸出図書。  
新刊のご案内です。



### 世界99 上・下 村田 沙耶香

この世はすべて、世界に媚びるための祭り。性格のない人間・如月空子。彼女の特技は、〈呼応〉と〈トレス〉を駆使し、コミュニティごとにふさわしい人格を作りあげること。「安全」と「楽ちん」だけを指標にキャラクターを使い分け、日々を生き延びてきた。空子の生きる世界には、ピョコルンがいる。ふわふわの白い毛、つぶらな黒い目、甘い鳴き声、どこをとってもかわいい生き物。当初はペットに過ぎない存在だったが、やがて技術が進み、ピョコルンがあるとある能力を備えたことで、世の中は様相を変え始める。

3年以上にわたる著者初の長期連載がついに書籍化。村田沙耶香の現時点の全てが詰め込まれた、全世界待望のディストピア大長編！

### 月とアマリリス 町田 その子

本屋大賞作家の新境地となるサスペンス巨編。  
声なき声が届くなら、今度こそ記者を諦めない。

『52ヘルツのクジラたち』で2021年本屋大賞を受賞後、『星を掬う』『宙ごはん』で同賞に3年連続ノミネート。人間ドラマを中心に執筆してきた町田その子さん、初のサスペンス巨編！

北九州市の高蔵山で一部が白骨化した遺体が発見された。地元のタウン誌でライターとして働く飯塚みちるは、元上司で週刊誌編集者の堂本宗次郎の連絡でそのニュースを知る。遺体と一緒に花束らしきものが埋められており、死因は不明だが大きな外傷はなかった。警察は、遺体を埋葬するお金のない者が埋めたのではないかと考えているという。遺体の着衣のポケットの中には、メモが入っていた。部分的に読めるその紙には『ありがとう、ごめんね。みちる』と書かれていた。遺体の背景を追って記事にできないかという宗次郎の依頼を、みちるは断る。みちるには、ある事件の記事を書いたことがきっかけで、週刊誌の記者を辞めた過去があった。自分と同じ「みちる」という名前、中学生のころから憧れ、頑張り続けた記者の仕事。すべてから逃げたままの自分でいいのか。みちるは、この事件を追うことを決めた――。

### 月収 原田 ひ香

月にいくらあったら幸せ？

大ベストセラー『三千元の使いかた』と一緒に読んでほしい新作！

それぞれの月収に見合う生活を送る6人。

欲しいもの、不要なもの、そして、お金では買えないもの――。



### 署長サスペション 今野 敏

### その時鐘は鳴り響く 宇佐美 まこと

### そういえば最近 寺地 はるな

### ディアオールド・ニュータウン 小野寺 史宜